

開倫塾

林 明夫

1. 今春の入試には、アメリカ合衆国大統領として「核兵器のない世界を目指す」と宣言したオバマ大統領が多くの学校で出題されました。
2. 被爆国である日本にとって核兵器の廃絶は全国民の願いでもあるため、入学試験では、『核兵器をつくらず、持たず、持ち込ませず』の非核三原則が、日本国憲法の前文の平和に関する記述と憲法第9条の条文とともに、毎年数多くの学校で出題され続けています。  
一つ一つのことばや条文の意味を辞書や資料集で確認し、十分に理解した上で、書き取り練習をして正確に書けるまでにしましょう。
3. 広島や長崎に原爆が投下された年号や日付も正確に記憶しましょうね。8月6日の平和記念式典での広島市長の平和宣言が出題されることもあります。
4. 来週になると、8月15日の終戦記念日ごろまで各新聞やTVなどで平和についての特集が生まれ、様々な意見が発表されますので、十分参考にして下さい。
5. 国際連合の目的やしくみなどが、総会や安全保障理事会などを中心に毎年のように出題されます。国連の専門機関であるユネスコやユニセフ、世界保健機関、国際貿易機関、国連難民高等弁務官事務所などの活動の内容を十分に理解した上で、UNESCO、UNICEFU、WHO、WTO、UNHCR など英語の頭文字も覚えましょう。「平和の砦を築こう」というユネスコ平和宣言も、よく理解した上でスラスラ言えるようになるといいですね。
6. ドイツのポツダム、ポーランドのアウシュビッツ、イスラムの国々、メキシコの位置なども地図帳で確かめた上で、資料集などでどのようなことなのか調べてみましょう。
7. 広島に来る予定の国連事務総長の潘基文さんがどのような演説をするか、大いに注目しましょうね。
8. 平和についての出題は、長文のものが多くみられます。新聞などでキーワードをしっかりと身につければ、高得点が期待できます。がんばって下さいね。